

『看護を語る in 藤枝』も今年度で3年目をむかえています。看護を語ることで思いを共有・感動し、日々の看護実践に活かすことができています。さらに自己の成長やお互いの成長にもつながっているとも感じています。

今年度第1回『看護を語る in 藤枝』を、令和3年7月29日（木）に開催しました。各部署代表7名による発表でした。それぞれが看護への思いを伝え、すばらしい発表でした。



テーマ

1 集中治療を必要とする患者家族への関わりについて

※家族の思いに寄り添い、安心感を抱いてもらうために



2 社会的支援が必要な患者との関わりについて

～糖尿病教育入院の患者への指導を振り返って～

※再び治療を自己中断しないために

3 透析導入となった心不全患者の意思決定に対する関わり

※家族と治療の意向が違う、患者・家族のために私が大切にしていること



4 妊産褥婦との関わりで大切にしていること

※妊娠に戸惑う女性の入院と助産師として私が目指す看護

5 COVID-19 感染患者との関わり

※隔離された空間で過ごす患者への看護と家族の役割



6 患者との関わりで大切にしていること

※限られた時間での患者・家族との関わり（救急外来）

7 手術室の看護師として大切にしていきたいこと

※手術を受ける患者の不安と緊張を和らげるために

